



幼児期のこどもの成長をとらえ方

9月から10月は運動会という大きな行事が待っています。保護者の皆様も我が子がどんな姿を見せてくれるか楽しみにされていると思います。

先日、保護者のOBの方と話す機会がありました。我が子の4歳児の発表会で、子ども達が自分の得意なことを自由に表現していて、見る側からはあまり面白くなかったが、小学校で得意なことを思いっきり表現する姿を見た時、4歳児の発表会が思い返されたというお話でした。

園児の今の姿が、先々どんな姿につながっていくか、経験しないと想像できませんが、今の姿は成長の途中ととらえ、大人が残念に思う姿でも子どもにとっては成長した姿かもしれません。

運動会でその子なりに努力している姿、できないなりに向き合っている姿を一緒に見つけ、成長につなげていきましょう。

まだまだ暑い日が続きますので、引き続き「暑さ指数」で判断しながら、戸外活動に取り組んでいきたいと思います。

園長 長谷部 弥生

【第2回こども園あり方検討会】 日時 9月17日(火) 18:30~

第1回は7月2日(火)に実施されました。日南町のこども園の現状と課題について、各園の保護者代表、地域住民代表の方の思いを伺いながら協議しました。分園についても少人数の意義、今後の幼児教育の方向性についてたくさんの意見をいただきました。

第2回は、交流保育の意義や日南町の子育て支援について協議していく予定です。幼児教育について、保護者、地域が一緒になって考えていただき、大変ありがたく思っています。

非認知能力ってどうやって伸ばすの？

共育(ともいく)
コーナー 🖐️

大丈夫だで



「やらないの!」「しな〜い」「食べな〜い」…
皆様のご家庭では、こんな言葉は飛び交っていませんかあ。

近年、失敗を恐れる子どもたちが増えているように感じています。昔って、「うんうん、なんかよく分からんけど、やってみる!」「これって、どうなるのかな?。まっいっぺんやってみるか」って皆さん、いろいろとやってみませんでした?

子どもたちは体験から学ぶと言われていますが、体験こそが『非認知能力育成の近道』とも言われています。体験の中で【自分と向き合う力】【自分を高める力】【他者とつながる力】が育成されるそうです。

“失敗” “あーやっちゃったあ” という体験が、“〇〇ではない、ということが分かった” と置き換えられて、『まあ、やってみるとするか? どうして分かるもしれんもんなあ』『なんとなく やれそうな気がする〜』って、心の中で思える子どもたちと一緒に育てていきましょう。きっと、自分に対する自信の土台となって、蓄えられていくと思います。